

令和2年6月15日

教職員 各位

理事（企画・総務・財務担当）

ダイバーシティ推進室長

渡 孝 則

令和2年度非常事態宣言下における在宅勤務に関するアンケート調査の実施について

平素より本学のダイバーシティの推進にご協力を賜り御礼を申し上げます。

佐賀大学では、全国に緊急事態宣言が発令されたことを受け、令和2年4月21日に新型コロナウイルス感染症拡大防止措置として、全教職員を対象に「在宅勤務による業務対応」の通知を行いました。

今回、緊急事態宣言下での在宅勤務について実態調査を行います。本調査の目的は、非常事態宣言下での在宅勤務の実態及び課題を把握し、今後の働き方改革に役立てることです。

一部の教職員におかれては在宅勤務の実施が難しく、特に、医学部附属病院については、高度医療の提供をはじめ、地域における中核的機関としての役割、機能の維持・継続が必要であるため、在宅勤務の実施は極めて困難な状況であったと思われませんが、本調査は全教職員を対象としております。

アンケートの回答は統計的に処理され、個人が特定される形でデータを公表されたり、回答内容によって不利益な扱いを受けたりすることは決してありません。

ご多用のところ大変恐縮ですが本調査の趣旨をご理解いただき、回答へご協力くださいますようお願いいたします。

※本調査は、「佐賀大学のこれから -ビジョン 2030-」における、大学運営領域のアクション No. 4-2「教職員が「やりがい」をもって働くことのできる大学の実現」に向けて実施するものです。

記

調査対象 佐賀大学教職員（非常勤も含む）

調査方法 オンライン調査（Office 365 Forms）

※ダイバーシティ推進室 HP にも掲載しています

※回答目安時間 5～15分程度

調査期間

令和2年6月15日（月）～令和2年7月10日（金）まで

なお、6月26日のダイバーシティ推進会議で部局別の回答率を報告させていただきます。

調査項目

調査項目内容は、職員と教員とで分けています。

- I 基礎項目
- II 在宅勤務の準備状況・利用について
- III 在宅勤務の実態について
- IV ワークライフと在宅勤務について
- V 在宅勤務期間中の研究について（教員のみ）
- VI 在宅勤務期間中の教育について（教員のみ）
- VII 今後に向けて

調査結果

アンケートの回答は統計的に処理され、当室ホームページで公開する予定です。

調査書

調査内容は、職員と教員とで分けています。該当する方をクリックしてください。

[職員対象アンケート調査](#)（役員・再雇用者含む）

[教員対象アンケート調査](#)（教室系技術職員、教務職員、附属学校園教員を含む）

※ダイバーシティ推進室 HP にも掲載しています

※回答目安時間 5～15分程度

[個人情報取り扱いについて](#)

本調査についてのお問合せ先 佐賀大学ダイバーシティ推進室（0952-28-8393）